

# お茶の水女子大学附属図書館における 『高等教育のための情報リテラシー基準』の活用事例 ～担当者の自信と心の余裕につなげるために～

2015.10.16(金)

お茶の水女子大学附属図書館  
餌取 直子



附属図書館学生アシスタント  
キャラクター…しほりちゃん

# お茶の水女子大学のリテラシー教育の取り組み

## 第一期(2007～2008)

- ・サービス担当常勤職員2名で細々と「論文検索講習会」を実施。  
→ テーマは「効率的な文献の探し方」(DBの利用を伸ばす目的も)

## 第二期(2009～2012)

- ・課内プロジェクトグループとしてリテラシー教育に取り組むことに。
- ・ サービス担当常勤だけではなく、非常勤さんや他の担当もメンバーに加わり、「図書館を使いこなそう！」と名称も変更。  
→ DBの使い方だけではなく、図書館全体を学びに活かして欲しいという願いを込めた。  
→ メンバーが増えたことで内容も充実。
- ・ 並行して、教員の依頼を受けて「授業内ガイダンス」を開始。  
→ 名称を「オーダーメイド講習会」に変更。

# お茶の水女子大学のリテラシー教育の取り組み

## 第三期(2012～2014)

- ・「オーダーメイド講習会」依頼数が増加。リピーターも多数。
- ・教員から、初年次の必修授業にした方が良いとの提案が！
  - その提案通りとはいかなかったが、1年生必修の情報処理関係の必修授業に組み込んで貰えることに！1コマまたは半コマで実施。
- ・オーダーメイド講習会の人気とは裏腹に、図書館主催の講習会の参加人数が減少...
  - 人気のRefWorks講習会のみ開催することに。

## 第四期(2015～)

- ・2017年度入学者より、従来のAO入試を改革した「新フンボルト入試」として、文系に「図書館入試」を実施することに決定。
- ・2015年8月に行われたプレゼミナールの「図書館情報探索演習」に全面協力。1年生向け講習会をアレンジした情報検索レクチャーを担当。

## 第三期あたりからの担当者の胸の内

もっとできることがありそう、でもどこまでできるのだろうか？

検索メインの講習会だったら自信を持って実施できる！

大学での学びに踏み込みたいけれど、先生はそこまで望んでいない...？

### 本当にこの内容で良い？

先生に聞いてみればいいのだけれど、どうやって話を持っていこう

そもそも自分たちがやっていることを見直したいけどちょっと怖い...

これまでの内容を大幅に変えるのも大変...

# 楽しく見直すチャンス到来！

「高等教育のための情報リテラシー基準(ドラフト2.3)」への意見を出すために、体系表を使って1年生向け講習会テキストを見直すとともに、ドラフトの評価もしてみよう！

- ・2014年8月7日(木) 10:00~11:30
- ・リテラシー教育グループ前期活動レビューの会
- ・リテラシー教育G 6人+研修で来ていた東京都公立学校教員2名
- ・グループワーク形式

# 楽しく見直すチャンス到来！

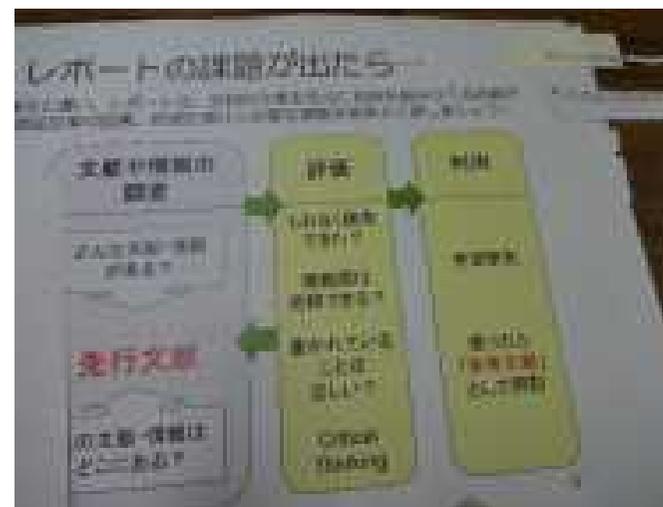


①テキスト (ppt)を1枚ずつA3にプリント

②活用表の「初級」を切り取り、項目別に色分けしたものを数セット用意。

③どのスライドがどの項目に合致するか意見交換。合致する項目をテキストに貼る。

④すべてのページが終了したら、全体を見直してどの部分ができていたか、足りない分はどこかを検討。



# 楽しく見直すチャンス到来！

## 見直しの結果

- ・講習会でカバーできている内容を確認できた！
- ・足りない箇所も分かった。そんなに手間をかけずに修正できそう！
- ・スライドが意図する効果(目的)が明確になったので、説明に説得力が増しそう！
- ・複数人でレビューしたことで、より客観的に評価できた！

もやもやが  
少し解消♪

改善へのモチベーションUP & これで良かったんだという自信

2015年度の新入生向け講習会のテキストに反映  
※著作権に関するスライドを追加し、「引用」についての説明を強化

# 再び活用表が活躍する機会到来

2015年8月

図書館入試プレゼミナールについての打合せ

・情報検索レクチャーの内容相談の際に教員に配布。

→ 図書館で担当する(できる)こと、先生に担当していただきたいことの相談。表によって一目瞭然となり、すんなり役割分担できた。

2015年10月

後期に実施する講習会についてのリテラシー教育G打合せ

・図書館入試プレゼミナールを受け、再度講習会内容を見直し。

→ 見直しへの抵抗感が減り、よりブラッシュアップできた。

改善点

・メディアの特性をより詳しく説明するスライドを追加。

・これまでのスライドで使っていたキーワードを体系表に合わせて修正。

## 今後に向けて

演習までやっている／  
説明のみ／時間があ  
ればやる、など

- ・体系表の各事項について、講習会で実施できていることをレベルごとにマーカーで色分けしてみる。
- ・その体系表を講習会依頼教員に配布し、共有する。
  - ・講習会で何を、どんな目的で話しています
  - ・時間があればここまでできますよ

という話ができる！

課題はたくさんありますが、まずは今できていることをもっとよく実施するために、基準を活用中。